

# 溝ノ口洞穴周辺の史跡

## 悠久の森



悠久の森は、今後永久に伐採せず子孫に引き継ぐことが条例で制定されています。平成14年に「全国遊歩百選の森」に認定。夏はマラソン大会、秋にはウォーキング大会が開催されています。

## 桐原の滝



大川原峽の見所のひとつ。落差15m、幅60mの滝で、加久藤火砕流堆積物（およそ33万年前）を、溝ノ口川の水が長い時間をかけて削り、現在の形となりました。近くにはキャンプ場もあります。

## 三連轟



大川原峽の見所のひとつ。溶結凝灰岩が溝ノ口川の水により削られて、現在のような段差が形成されたと考えられています。時期や天候により、様々な表情を見せてくれます。

## 中谷の奴踊り



毎年4月8日（お釈迦様の誕生日）に近い日曜日に、溝ノ口洞穴周辺で岩穴祭りが実施され、奴踊りが奉納されています。現在は、中谷小学校の児童が継承しています。

## 刀踊り・棒踊り



毎年、岩穴祭りにおいて、棒踊りと刀踊りを毎年交互に奉納しています。昭和55年頃より溝ノ口洞穴青友会により復活し、継承されています。（写真は刀踊り。H29.4.9撮影）

## 堤洞穴



堤研修センターから北東方向に400m程進んだ丘の下にあります。入口は横4m、縦3m程で、水が流れています。奥へ100m程進むと泉口があり、その先5m程で行き止まりとなります。

# 溝ノ口 洞穴

【みぞのくちどうけつ】

国指定天然記念物  
令和3年3月26日指定



曾於市財部町の山間部にあり、入口の横幅14.6m、高さ6.4mもの大規模な洞窟です。

約33万年前、加久藤カルデラから噴出した加久藤火砕流堆積物が浸食されて形成された谷地形を埋めるように、約29,000年前に始良カルデラから噴出した入戸火砕流（シラス）が厚く堆積しました。

洞穴内では、入戸火砕流堆積物が熱と圧密により、硬い溶結凝灰岩へ変化した様子（側方変化）がよく観察できます。浸食と崩落を繰り返しながら洞穴が形成され、絶妙なバランスを保ち、幻想的な雰囲気を出すパワースポットです。

平成29年度に地形測量調査を実施したところ、現在の洞穴の全長は209.5m、床面積は2,973㎡ということが分かりました。

洞穴内では、普段目にする機会の少ない動物が観察できます。とくにコウモリは、黒い体のユビナガコウモリと、茶色い体のノレンコウモリの2種類が確認されています。洞穴の上部とその周辺の自然環境は、専門家の指導により、洞穴の保存に最も適した広葉樹（コナラ・ドングリ等）を植林したあと、なるべく人間が手を加えることなく自然に任せた植生の保存に努めています。

溝ノ口洞穴は地元の人々によって大切に守られ、お釈迦様の誕生日に近い日曜日には、洞穴の前で岩穴祭りが行われ、奴踊りと刀踊りや棒踊りが奉納されています。

また、溝ノ口洞穴は、溶結凝灰岩洞として最長であることや、自然が保持され形成過程がよく観察できる等の理由で、平成25年8月に日本百名洞の一つに選出されています。



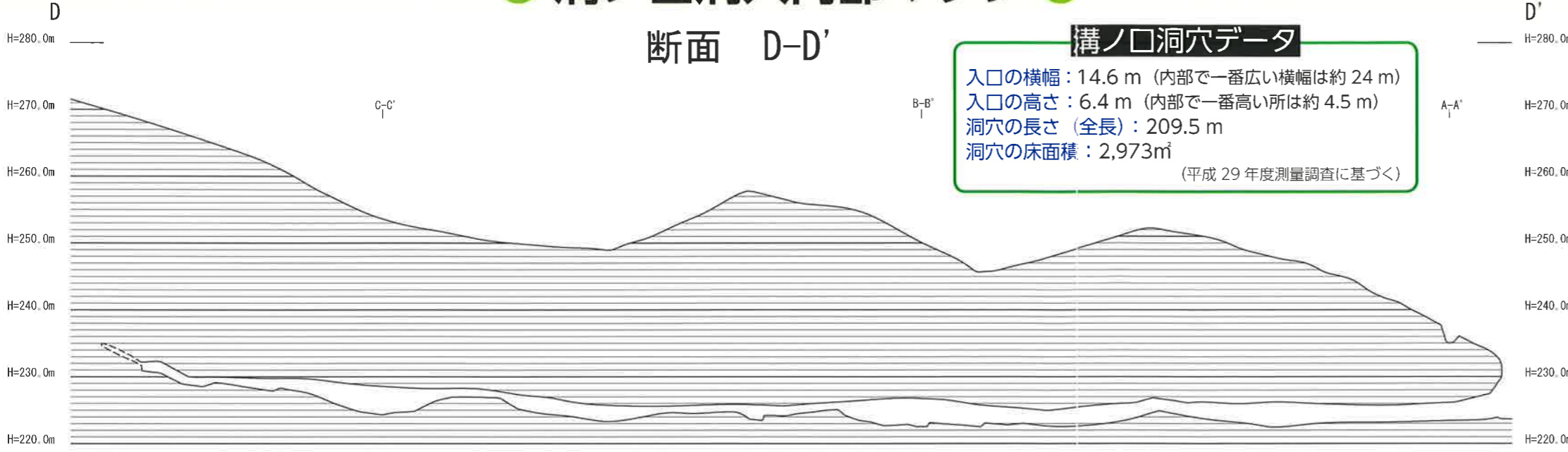
【監修】大木 公彦（鹿児島大学名誉教授）

【発行】曾於市教育委員会 社会教育課 文化財係

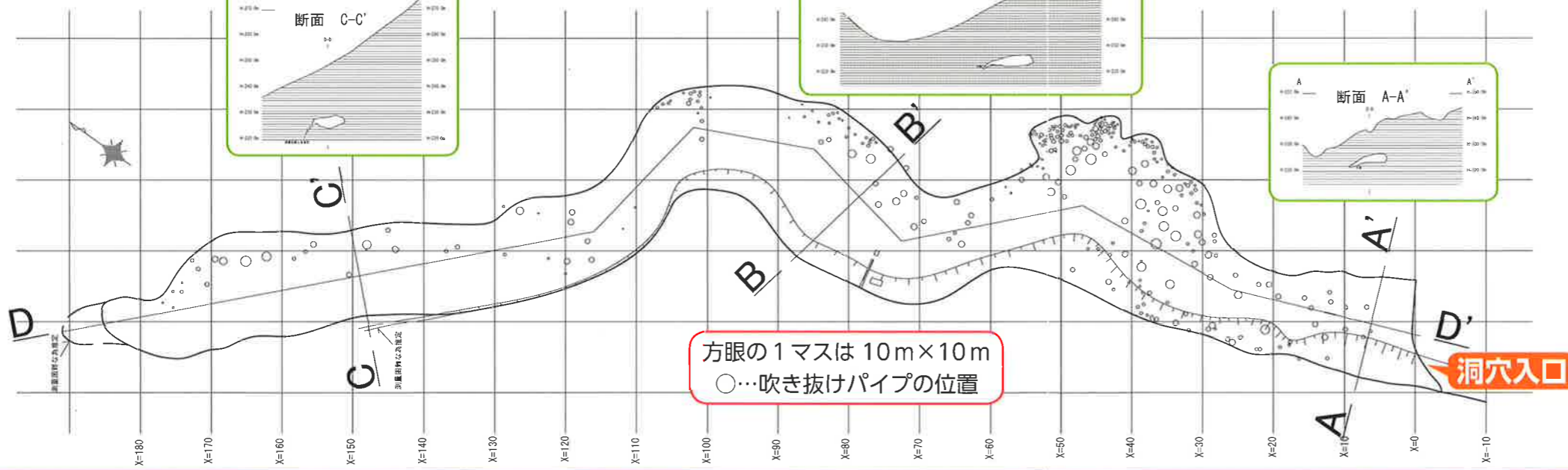
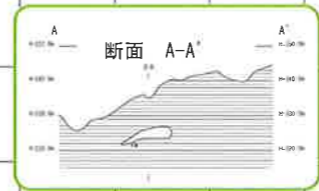
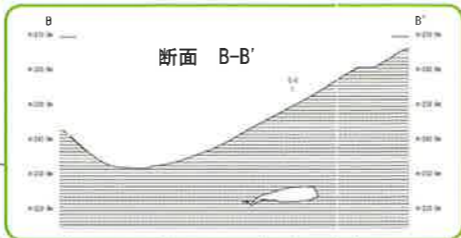
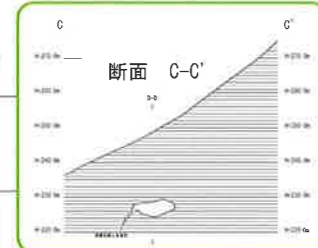
〒899-8102 鹿児島県曾於市大隅町岩川 5629 番地 TEL 099-482-5958

曾於市教育委員会

# ● 溝ノ口洞穴内部マップ ●



**溝ノ口洞穴データ**  
 入口の横幅: 14.6 m (内部で一番広い横幅は約 24 m)  
 入口の高さ: 6.4 m (内部で一番高い所は約 4.5 m)  
 洞穴の長さ (全長): 209.5 m  
 洞穴の床面積: 2,973㎡  
 (平成 29 年度測量調査に基づく)



## 天井の穴について ~吹き抜けパイプ~

天井に見られる穴は「吹き抜けパイプ」と呼ばれる火山ガスが抜けていった痕です。入戸火砕流が厚く堆積し、熱い状態の時に、火砕流の中に含まれる火山ガスや水蒸気が上に向かって抜けていったことにより形成されたものです。火山ガスや水蒸気の量により、吹き抜けパイプのサイズや深さが異なります。

平成 29 年度の測量調査の結果、洞穴内部の天井には 307 個もの吹き抜けパイプが確認されました。これだけまとまった数を観察出来るのは、非常に珍しいことです。



## 岩穴観音

洞穴入口にある岩穴観音像は、昭和 56 年 11 月 29 日、地元の人々により建立され、大切に祀られています。元の岩穴観音(磨崖仏)は、一部が欠落しているものの、洞穴入口の左上壁面に残っています。



## 膳棚



テーブル状の巨大な大岩で、これは天井部分の自然崩落によって出来たものです。洞穴の最深部付近から観察出来ます。  
 ※非常に危険ですので、立ち入らないでください。

## 溝ノ口洞穴が出来るまで

図1 入戸火砕流の堆積 (洞穴を正面から見た図)

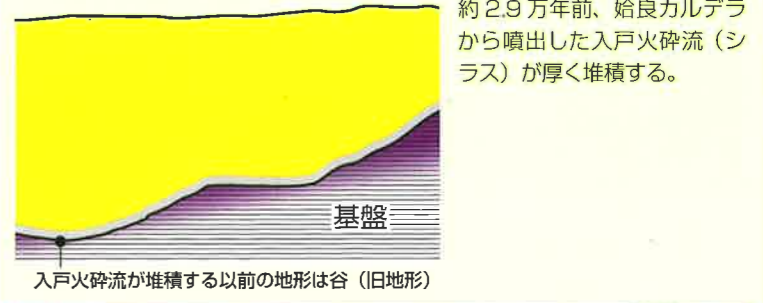


図2 堆積した火砕流は中が溶結する

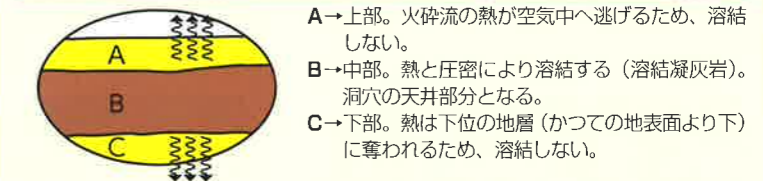


図3 溶結作用で火砕流堆積物の上面が下がり、浸食されて現在の地形が形成される



図4 少しずつ洞穴が形成されていく (洞穴を横から見た図)

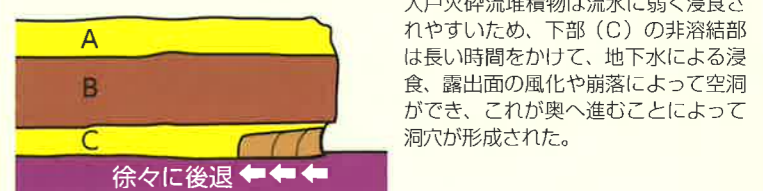
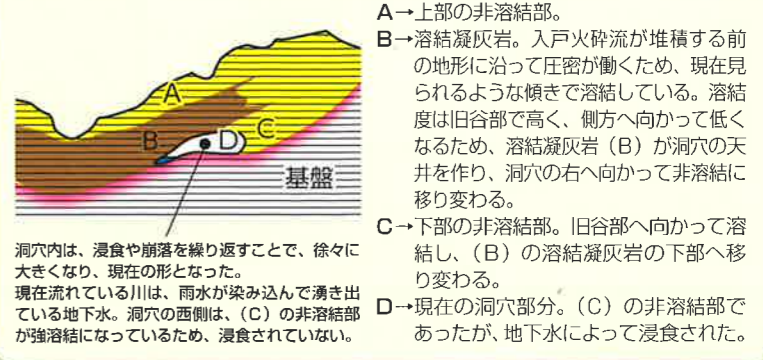


図5 現在のすがた



溝ノ口洞穴は貴重な天然記念物です。次の世代に確実に残し伝えるためにも、ごみを捨てたり、傷つけたりしないようにしましょう。安全のため、洞穴の入口付近のみ公開しております。